

(2個の玉をとる 色玉系編表を使ったやり方)

玉を **2個** とるなら 表が使える

(例題) 袋の中に、赤玉2個と白玉2個が入っている。
この袋の中から、同時に 2個の玉を取り出すとき、
少なくとも1個は赤玉である確率を求めなさい。

赤玉1個、または赤玉2個

1回目(同時の)

		赤1	赤2	白1	白2
2回目(同時の)	赤1		赤1赤2	赤1白1	赤1白2
	赤2			赤2白1	赤2白2
	白1				白1白2
	白2				

全部で 6通りある。

赤1 や 赤2 が入っているのは
5つある

確率は $\frac{5}{6}$

(例題) 袋の中に、赤玉2個と白玉3個が入っている。

この袋の中から玉を 1個取り出し、それをもとにもどして、
また1個取り出す。このとき 次の確率を求めなさい。

1個取ってまたもとにして1個とるので、
線引けない。全部で 25通りある。

1回目

		赤1	赤2	白1	白2	白3
2回目	赤1	赤1赤1	赤1赤2	赤1白1	赤1白2	赤1白3
	赤2	赤2赤1	赤2赤2	赤2白1	赤2白2	赤2白3
	白1	白1赤1	白1赤2	白1白1	白1白2	白1白3
	白2	白2赤1	白2赤2	白2白1	白2白2	白2白3
	白3	白3赤1	白3赤2	白3白1	白3白2	白3白3

(1) 2回とも赤玉である確率

赤赤が4つあった $\frac{4}{25}$

(2) 赤玉と白玉が1個ずつである確率

赤白が12つあった $\frac{12}{25}$

(3) 赤玉、白玉の順である確率

赤白の順番になっているのは6つあった $\frac{6}{25}$